

令和2年度国立淡路青少年交流の家教育事業
「ホンモノ」と出会う1泊2日 English Tour in AWAJI 実施報告

- 1 趣 旨：常に英語が身近にある環境で「自分の言いたいことが英語で伝わる喜び」を感じ、自信を持ってコミュニケーションを図るとともに、生涯にわたって英語を学び続ける態度を養成する。また、航空会社等の仕事で英語を日常的に話す大人と接することで、将来英語を使おうとする意欲を高める。
- 2 日 時：令和2年12月12日（土）13：00～13日（日）～15：30
- 3 場 所：国立淡路青少年交流の家
- 4 対 象：英語や海外に興味があり、もっと英語に触れたい淡路島内の小学校5・6年生
- 5 参加者：26名
- 6 講 師：日本航空株式会社 日森麗子氏
ホテルニューアワジグループ 細田鼓美氏
南あわじ市・洲本市 ALT, ST 9名

7 プログラムの内容

12月12日（土）13：00～13：00 受付

受付の際に自分の顔写真付きのパスポートを手渡された参加者は、入国審査を体験した。ALTから「What's the purpose of your visit?」等を英語で質問され、これから始まるEnglish Tour の世界に引き込まれていた。



12月12日（土）13：30～14：00 開講式

この事業の趣旨・スタッフ紹介の後、グループ内で自己紹介を英語で行った。参加者は飛び交う英語に驚き、戸惑っていたが、自分の名前や誕生日、好きなものを英語で伝えていた。

12月12日（土）14：00～15：00 国際線体験

国際線体験を行う教室で待機中の日本航空株式会社 日森氏から、飛行機の搭乗案内をしていただいた後、機内に見立てた教室へ移動した。その後日森氏による国際線体験を行った。機内アナウンスは日本語と英語を交えて行い、機内サービスの実演も英語でしていただいた。参加者は ALT と日森氏が英語でやりとりする様子を目を丸くして見ていた。また日森氏から英語で、荷物を棚に上げてよいか、機内食は何が食べたいのか、飲み物は何がよいか等を話し





かけられた際には、緊張しながらも会話の終わりに「Thank you.」と答えられていた。活動の最後には参加者から「何ヶ国語話せますか?」「客室乗務員になるために何を頑張りましたか?」等の質問があった。たくさんの国に行ったことがあり、たくさんの言語を話せる客室乗務員に対し、参加者は感心している様子だった。

12月12日(土) 15:00~17:00 English Adventure Rally

グループ別で「Restaurant」「Souvenir Shop」「Hospital」「Best Shot」のブースで海外旅行体験を行った。各ブースにはミッションがあり、「Restaurant」ではメニューに英語で書かれた料理名を聞き出す、「Souvenir Shop」ではある人にピッタリなお土産を選ぶ、「Hospital」



では指定された症状と原因を伝える、「Best Shot」ではグループで1枚集合写真を撮ってくることであった。



「Best Shot」以外のブースでは

ALT を店員や医者に見立て活動を行った。参加者は英語で伝えるのは難しいと感じると、ジェスチャーを使ったり、和英辞書で単語や表現を調べたりして、言いたいことを伝えようとしていた。活動の後半は ALT と参加者の役割を交代し、立場を変えて英語でのやりとりを

楽しんでいった。

12月12日(土) 17:00~18:00 Check-in 体験

ホテルニューアワジグループ 細田氏による、ホテルへのチェックイン体験を英語で行った。参加者は最初に Registration Card に名前や住所を記入し、そのカードとパスポートを持って、細田氏によるチェックインを受けた。部屋番号を伝えられた際にはどの参加者もしっかりと細田氏の顔を見ながら「Yes!」と答えられており、英語を使うことに対する抵抗が薄れてきたことがうかがえた。最後の質問コーナーで細田氏から「中国からのお客様も多いので中国語も勉強している。」という話があり、中国語を話せる淡路のスタッフと会話をしていただいたのだが、参加者は英語以外の言語も勉強している姿に感動していた。



12月12日(土) 19:00~20:30 Let's Make a Christmas Tree!

松ぼっくりを使用してクリスマスツリー作りを行った。松ぼっくりに色を付けるためのスプレー、飾りつけを ALT からもらう、友達と交換する際には英語で話しかけるよう伝え、**「I want this.」「Please change.」「Thank you!」**などを自然に言っていた。また ALT からの質問にも積極的に英語で答える姿も見られた。活動の最後に、自分の松ぼっくりでお気に入りの部分を全体で発表した際にも、**「Nice!」「Good!」「Great!」**といった言葉が参加者から聞かれた。1日を通して、自ら英語を話す態度が変化したことがよく分かる活動であった。



12月13日(日) 8:30~12:30 American Hamburger

活動の初めに、高校生ボランティアによるハンバーガーの説明を英語で聞いた後、グループで作り方をまとめた。どのグループも英語による説明が理解できており、スムーズに手順をまとめられていた。その後野外炊事場で直径20cmのハンバーガー作りに挑戦した。調理の準備の合間に参加者が ALT と積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている姿が印象的であった。出来上がった大きなハンバーガーを**「これ、どうやって食べるん?」**と言いながらおいしそうに食べていた。また日本で販売されているハンバーガーと自分が作ったものを実際に比べることで、日本と海外の大きさの違いも実感していた。



12月13日(日) 13:00~14:00 Free Time

自由時間に交流の家の近くにお住いの Thimson Family にお越しいただき、クリスマスソングの演奏会、英語のゲームをしていただいた。参加者は特に英語のゲームを楽しんでいた。その中で英語で質問されても、英語で指示を出すよう言われても、物おしせずに英語を話していた姿が印象的だった。ゲームはアンコールがかかるほどの盛り上がりを見せた。



8 参加者の声

- 授業の英語ではもの足りないと思っていたので、沢山英語を使う活動があってよかったと思いました。今はコロナ禍で海外旅行にも行けないのでこの活動はいい機会になった。
- 外国語は難しかったけど、外国の人と触れ合うことができたと思う。本物のALTの先生やCAさんなどが来て嬉しかったし、楽しかったです。（ちなみに私はCAさんになりたいです。）
- このEnglish Tour in AWAJIでもっと世界とつながりたいと思った。英語を沢山勉強して、ALTとも普通の会話ができるようになりたいです。
- 最初は「楽しみ」より、うまくできるか「不安」の方が多かったけど、友達もできたし、とても楽しくて不安もなくなっていった良かったです。

9 所感

応募人数20名程度に対して108名の応募が来たことから、小学生の英語に関する関心の高さがうかがえた。その英語に関心の高い小学生も、最初は英語が飛び交う環境に戸惑っていたが、時間がたつにつれ自然と口から英語が出るようになっており、最終的にはALTに物おじすることなく英語とジェスチャーでコミュニケーションをとろうとする姿が印象的であった。これは、常に明るく参加者と関わってくださったALT、STの先生方、参加者とALT、STを英語でつないでくれたボランティアの学生たち、そして講師として来てくださった、仕事で英語を使う“ホンモノ”の方のおかげである。次年度以降継続して事業を行えるのであれば、小学生に「自分の言いたいことが英語で伝わる喜びやかっこよさ」を実感してもらえるよき機会となると考える。

この事業の参加者の中から一人でも多く世界にはばたいていける人材が輩出されればと願う。